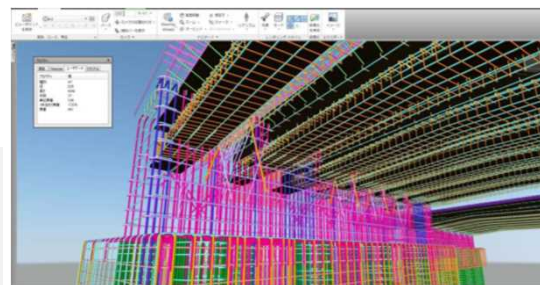


# 14. インフラを守る時代のi-Construction

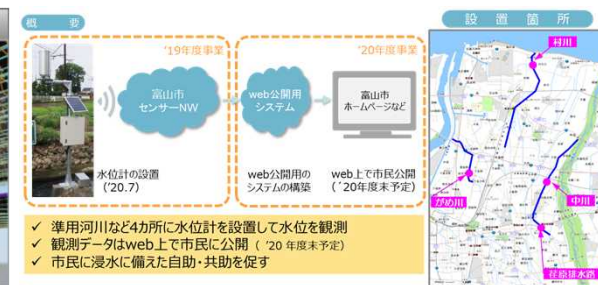
推薦整備局等	北陸地方整備局
地方公共団体名	富山市
取組主体	富山市

## 【取組概要】

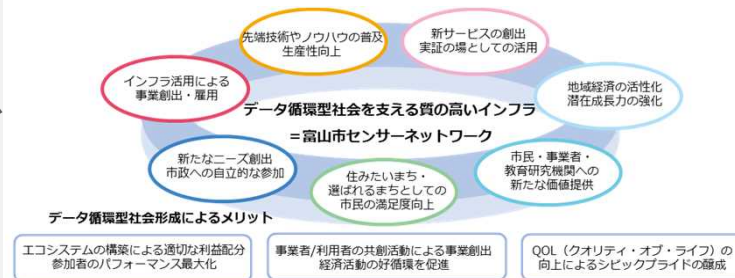
維持管理の効率化を図るため、「富山市センサーネットワーク」を構築。橋梁・除雪・河川の各分野において、業務の効率化・高度化にあたり、新技術の導入、民間等との連携、CIMの活用等に取り組んでいる。道路占用許可申請においては、電子申請システムを構築し、窓口事務の省力化を実施。さらには、インフラ関連の情報を官民間で共有化するためのプラットフォームを構築し、官民協働による情報の連携と共有化に取り組む。また、シンポジウムを実施し、取り組みや国・県・民間のICTの事例を紹介し、講演者や参加者とともに議論を行った。



CIM導入による鉄筋の干渉の検出



河川水位監視システムの概要



富山センサーネットワーク



i-Construction推進シンポジウムの開催状況  
(令和元年10月)

- 従来の2次元による図面に加え、CIMの導入により配筋状況等を可視化することで、鉄筋の干渉等の施工段階に起こりうる不具合を設計段階で解消した。
- 道路占用許可申請の分野では、インターネットからの電子申請が可能なシステムを構築し、Withコロナ時代における対面機会の減少とテレワークの促進に寄与すると共に、官民双方の事務の省力化が期待できる。
- 橋梁モニタリングシステムを始めとする、センサーネットワークを構築するとともに、維持管理業務等の効率化・高度化に向け取り組んでいるほか、センサーネットワークを活用した実証実験を民間から公募することで多角的な活用方法の検討にも取り組んでいる。
- 富山市において国、地方公共団体、建設業等を対象に「i-Construction推進シンポジウム」を開催し、全自治体共通の課題であるインフラ老朽化への対応や生産性向上への取組について関係者の理解を深めた。